

核を含む大軍拡の嵐の中、 大学・学生・高校生から平和の発信を

2023年 7月29日[土] 13:00~16:30 オンライン開催 (zoom)

主な講演・コメント

被爆体験と核兵器廃絶の間

直野章子 (京都大学)

基調報告

核を含む大軍拡の嵐の中、大学・学生から平和の発信を

——新潟大非核平和宣言から平和教育の実践／現代学生への向き合い方について問題提起

赤井純治 (元新潟大学)

平和創造学の可能性——人権と平和を探究する明治大学より

師井勇一 (明治大学)

高校生平和ゼミナールと主権者教育の課題

沖村民雄 (元高校教員／高校生平和ゼミナール全国連絡センター)

学生平和ゼミナールの活動を通して思うこと

田原ちひろ (武蔵野大学 学生平和ゼミナール)

平和についての対話で見える学生のリアル と、その閉塞感の突破口(?)

高木安奈 (慶応大学 学生平和ゼミナール)

新潟大学の講義「平和を考える」をきっかけに私が抱いた平和への思い

大野朱璃 (新潟大学)

核兵器禁止条約の署名・批准を求める高校生署名に取り組んで

高校生 (高校生平和ゼミナール)

今の情勢は、国際的には、ウクライナへのロシアの侵略戦争の中で、核使用の危険が現にあり、国内的にはウクライナの戦争を口実にしての大軍拡、その中の敵基地攻撃能力は核使用・核戦争へ繋がりを危険を内包しています。

ここで、核兵器禁止条約は希望の光、そして科学者もいまこの情勢に平和の発信が求められます。科学者ということ、大学が大きく関わるという意味で、捉えてみると、今の平和を脅かす動きに対置する言葉は「非核平和」：かつて大学で非核平和宣言運動がありました。いま、再び、大学から、非核平和の声を上げるべき時です。

大学に関わる課題の中で、平和教育にも焦点を合わせ、学生にも参加してもらい、さらに高校生にも参加してもらい、全体の運動を若い力で活性化させたいという狙いも併せ持ちたいと思います。これは今の情勢にマッチしており、ぜひ、学生の方も誘っての、元気の出る集会にしたいと、zoom の許容人数も大規模のものを準備してお待ちします。この若い世代の立ち上がりを促すというのは、極めて現代的、挑戦的な課題です。一緒に考えてみませんか。

● 参加お申し込み

下記URL か左記QRコードからお申し込み下さい。のちほど zoom のリンク等をお知らせします。

<https://forms.gle/XJt5Jh4tCdazNWG59>



※ 関心ある大学生の参加を、ぜひ広く呼びかけてください。

※ 総合討論で各大学での、非核平和宣言の継承、平和教育の実践等、発言希望の方はあらかじめ、赤井宛、申し込みをお願いします。下記メールアドレスへ ja86311akai@gmail.com。発言のタイトル、氏名・所属、概要を数行で。メールのタイトルには「23 科学者集会、発言希望」と書いてください。